

学校給食センター

令和元年10月31日現在における令和元年度の予算及び事務事業の執行状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当センターの職員は所長1人、管理係長1人、調理係長1人、調理員1人、再任用職員1人の計5人である。このほかに栄養教諭3人（県費支弁職員）、調理係に臨時職員26人（調理業務員12人、運転業務員5人、調理補助員9人）が配置されている。

2 予算の執行状況

当センターに係る歳入は、予算現額1万3,000円に対し、調定額、収入済額共に7,433円である。

歳出は、職員の給与費を除く予算現額7,703万2,000円に対し、執行済額は4,092万6,745円で執行率は53.1%である。

執行済額の主なものは、共済費23万3,060円（臨時職員労災保険料）、臨時職員の賃金1,845万4,012円、需用費1,445万1,781円（消耗品費588万4,800円、燃料費222万3,234円、光熱水費578万8,139円、修繕料55万5,608円）、役務費66万4,302円（検便等の手数料48万1,720円ほか）、委託料391万740円（自家用電気工作物保安管理業務43万1,640円、消防用設備点検業務30万5,200円、衛生保守管理業務47万880円、蒸気ボイラー保守点検業務40万3,518円、調理場内厨房機器点検業務17万2,800円、厨芥処理システム保守点検業務12万9,600円、機械警備業務19万6,200円、産業廃棄物（グリーストラップ清掃・廃油）処理業務16万4,592円、給食管理システム保守業務19万6,200円、空調機保守点検業務委託43万3,820円ほか）、備品購入費315万9,000円（パススルー冷蔵庫1台84万2,400円、厨房用スポットエアコン5台59万4,000円、和え物室冷蔵庫2台1,620,000円ほか）、負担金補助及び交付金2万円（始良・伊佐地区学校給食研究協議会会費ほか）などである。

3 事務事業の執行状況

事業名	執行済額 (円)	事業内容及びその効果
学校給食事業	40,926,745	<p>【事業内容】</p> <p>①学校給食センターの円滑な運営を図る。</p> <p>②安全で栄養バランスのとれた給食を、市内小学校 14 校、中学校 2 校、本城幼稚園、子ども発達支援センター「たんぽぽ」へ提供する。</p> <p>③食材・施設の細菌検査等を実施する。</p> <p>④調理従事者に研修・健康診断を実施する。</p> <p>⑤学校給食展の開催やセンター見学会を実施することで食育の推進を図る。</p> <p>⑥（給食費）伊佐米の購入について、JA 北さつまと直接契約する仕組みを構築する。</p> <p>⑦食物アレルギーのある児童生徒に対応した給食を安全に提供する。対象者は現在 25 人で、アレルギー源は、乳製品、卵、魚介類など 59 品目である。</p> <p>⑧安全に給食を提供するため、異物混入と食中毒防止に努める。</p> <p>⑨給食の配送・回収を安全にまた確実に実施する。</p> <p>【事業効果】</p> <p>①施設、設備について、日常の点検に加え、長期休業中の専門業者による集中点検で、故障等の予防を行った。修理の必要な事項は速やかに対応し、給食の提供に支障は生じなかった。</p> <p>②今年度も大きな事件事故なく給食を提供できている。</p> <p>③専門業者による厳正な衛生診断を実施することで、注意点や努力点が見える化し、調理従事者の衛生意識の向上につながっている。なお、データは毎日実施するミーティングの中で情報共有している。</p> <p>④県教委とセンター連絡協議会の主催する研修会に参加し関係職員の資質向上を図った。（詳細は別記）また、市の健康診断等を受診させ、自己の健康管理の徹底を喚起した。</p> <p>⑤「伊佐ふるさとまつり」において、恒例の学校給食展を実施した。多くの児童生徒と保護者また学校関係者等が来場し楽しく食育や給食の仕組み等を学んでいた。センター見学も校長会や学校訪問時に積極的に呼びかけた結果、1 学期に 2 校の訪問が実現した。</p>

	<p>⑥新センター開設以前から伊佐産のヒノヒカリを100%使用しているが、(公財)鹿児島県学校給食会を介しての発注・支払いであったため、本年度から直接契約し経費の削減を図った。(年間約25万円)</p> <p>⑦アレルギー対応は、医師の診断を基に、栄養教諭が保護者と学校と綿密に打合せて対応を決定している。調理においては、3人の専門調理員を指定し、専用室で必ず複数対応させた。また、緊急連絡体制表を作成し緊急時に備えている。</p> <p>⑧異物混入防止は、検収や下処理時に確実に実行する。特に包丁やスライサーの刃こぼれは使用前、使用中、使用後に点検を行い記録する。異物混入・食中毒も緊急連絡網を作成し、関係機関と情報共有を図っている。</p> <p>⑨配送、回収時の交通安全等については、指差し確認の徹底を含め適時指導した。また、市職員の安全教室を受講させ意識の高揚を図る。</p>
--	--

職員研修

研修会名	第52回鹿児島県学校給食センター連絡協議会研究協議大会	令和元年度学校給食衛生管理等研修会
主催	鹿児島県学校給食センター連絡協議会	鹿児島県教育委員会
開催日	令和元年7月25日(木)	令和元年8月2日(金)
会場	鹿児島県市町村自治会館	かごしま県民交流センター
参加人数	26人(うち臨時職員等22人)	17人(うち臨時職員等13人)
内容	<p>【主題】「生きる」力を育む食育の推進と学校給食の充実</p> <p>〔講義〕学校給食における衛生管理の充実(県保健体育課指導主事) (内容) ・食中毒の発生状況と学校における衛生管理の徹底 ・衛生管理に関する危機管理 ・食物アレルギーの対応</p> <p>〔パネル討議〕給食の残食減に向けた取組 (内容)給食会、栄養教諭、調理主事、センター長など5件の事例発表と討議</p>	<p>〔講義1〕食に関する指導の進め方(県保健体育課指導主事) (内容)食育の推進に伴う授業づくり</p> <p>〔講義2〕学校における給食管理(同指導主事) (内容)学校現場での衛生管理の徹底</p> <p>〔講義3〕鹿児島県の食中毒発生状況等(県生活衛生課技術専門員) (内容)ウィルスの特性と予防衛生の重要性</p> <p>〔事例紹介〕新設学校給食センターの紹介 (内容)霧島市立国分南部学校給食センターの施設紹介と安全面の取組</p>

4 委託契約並びに実施状況

委託業務は、次のとおりである。

補助 単独 の別	委託業務名	契約金額 (円)	契約の相手方	契約 方法	契約期間
単独	自家用電気工作物保安 管理業務（長期継続契 約）	431,640	前永電気管理事務所	随意 契約	H31.4.1 ～ R3.3.31
単独	消防用設備点検業務 （長期継続契約）	305,200	(有)瀬戸口電設	指名 競争 入札	H31.4.1 ～ R3.3.31
単独	衛生保守管理業務	470,880	㈱鹿児島有恒社	随意 契約	H31.4.1 ～ R2.3.31
単独	蒸気ボイラー保守点検 業務	403,518	三浦工業㈱ 鹿児島支店	随意 契約	H31.4.1 ～ R2.3.31
単独	調理場内厨房機器点検 業務	172,800	㈱中西製作所 鹿児島営業所	随意 契約	R1.7.22 ～ R1.8.16
単独	厨芥処理システム保守 点検業務	129,600	㈱中西製作所 鹿児島営業所	随意 契約	R1.7.22 ～ R1.8.16
単独	機械警備業務（長期継 続契約）	196,200	第一相互警備保障㈱	随意 契約	H31.4.1 ～ R3.3.31
単独	産業廃棄物（グリース トラップ清掃・廃油）処 理業務	164,592	㈱サニタリー	随意 契約	H31.4.1 ～ R2.3.31

単独	給食管理システム保守 管理業務	196,200	行政システム九州(株) 鹿児島支店	随意 契約	H31.4.1 ～ R2.3.31
単独	給食管理システム元号 改正対応業務	540,000	行政システム九州(株) 鹿児島支店	随意 契約	H31.4.1 ～ H31.5.7
単独	給食センター床洗淨ワ ックス塗布業務	60,426	(株)大口ビルサービス	随意 契約	R1.7.22 ～ R1.7.31
単独	給食センター屋上換気 扇清掃業務	297,000	(株)大口ビルサービス	随意 契約	R1.7.22 ～ R1.7.31
単独	給食センター敷地内除 草業務	108,864	公益社団法人伊佐市 シルバー人材センタ ー	随意 契約	R1.5.15 ～ R1.9.30
単独	空調機保守点検業務	433,820	(有)徳永電気水道設備	指名 競争 入札	H31.4.1 ～ R2.3.31

5 負担金等の支出状況

各種団体への負担金は、次のとおりである。

団体名	事業内容及びその効果	負担金額 (円)
鹿児島県学校給食セ ンター連絡協議会	県内の学校給食センター等の関係者が一堂に会し、学校給食の当面する諸問題について研究協議を行い、関係職員の資質の向上とより豊かな学校給食の充実推進を行う。	4,000
始良・伊佐地区学校 給食研究協議会	始良・伊佐教育事務所管内小・中学校の学校給食実施校で組織し、食育の推進及び学校給食の充実振興を行う。	16,000

6 給食の実施状況

平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 10 月 31 日までの給食状況は、次表のとおりである。

区 分	給 食 実 施 回 数 (回)			給 食 人 員 (人)		
	パ ン	米 飯	計	延べ人員	1 日当たり 平均人員	備 考
小 学 校	22	85	107	148,302	1,386	教職員・センター職員・保護者試食分を含む
中 学 校	22	84	106	60,420	570	教職員・保護者試食分を含む
幼 稚 園	0	66	66	1,320	20	教職員・保護者試食分を含む
たんぼぼ	0	85	85	2,805	33	
計	44	320	364	212,847	2,009	

給食人員 (10 月末現在)

区 分	児童・生徒(人)	職 員 (人)	計 (人)
小学校	1,148	238	1,386
中学校	512	58	570
幼稚園	15	5	20
たんぼぼ	19	14	33
合 計			2,009

給食費

区 分	月 額 (円)	1 食 (円)
小学校	3,900	225
中学校	4,600	266
幼稚園・たんぼぼ	-	155

給食回数

区 分	回 数	備 考
パン食	週 1 回 (木)	米飯給食は、センター開設当初から週 4 回である。米飯給食の利点は、和食メニューになることで地元食材を活かした献立作成ができること。また、社会科などで稲作について学ぶ機会があるので、子どもたちが興味を引くような仕掛けを考えていきたい。(今年度中に「丸ごと JA 北さつまデー」を実施する予定。)
米飯食	週 4 回 (月・火・水・金)	

7 財産の管理状況

財産の管理状況は、次のとおりである。

種 別	面積 (㎡)	備 考
土 地	5,577.45	給食センター (宅地、水路)
建 物	1,724.50	給食センター (本体、車庫)

8 現地監査

学校給食センターの土地及び建物の管理状況については、良好に維持管理されていることを認めた。

9 その他

事務・事業の執行については適切に処理されており、財務に関する諸帳簿及び各台帳などについても良好に整備保管されていることを認めた。

給食業務についても、安心・安全・おいしい給食の提供に専念されていることを認めた。

今後とも食材の選定や調理場の衛生管理、職員の健康管理に努められ、児童生徒に喜んで食べてもらえる給食の提供がなされるよう望む。